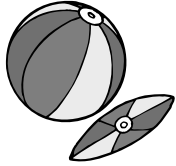


8月・9月の催し物

紙の博物館 ☎ 893-0886

- 第21回紙とあそぼう作品展
7月23日(日)～8月20日(日)
小・中・高生から募集した紙を使った立体作品や、手工芸作品を一堂に展示。



- 第12回四季おりおりしゅんこう
和紙ちぎり絵展
7月26日(水)～8月6日(日)
佐川、越知、須崎ちぎり絵サークルの皆さんによるちぎり絵展を開催。作品は和紙の持つ美しさ、柔らかさを活かした四季おりおりの草花や風景、祭りなど100点余展示。

- 吉川工房の手仕事と染色工芸展
8月8日(火)～9月10日(日)
香南市(旧香我美町)の現代の名工吉川登志之工房の染色展を開催。土佐つむぎ、土佐凧、フラフ、



タオルやテーブルクロスなど200点余を展示。

- 土佐の昔話とわらべうた和紙絵展
8月9日(水)～8月20日(日)
はまゆうちぎり絵教室の皆さんによる展示会を開催。土佐の昔話とわらべうたを和紙絵で表現した作品25点余を展示。

- 尾戸焼11代森田芳伯碗碗展
8月23日(水)～9月3日(日)
高知市の森田芳伯さんによる茶陶展を開催。茶器を中心に50点余を展示。

- 第17回モラード会展
9月1日(金)～9月18日(月)
創作絵画グループの皆さんによるモラード会展を開催。作品は、油彩や水彩、和紙絵、写真等200点余を展示。

ギャラリー・コパ ☎ 893-1200

- 月の船工芸展
9月6日(水)～9月10日(日)
特選呉服いしはらの展示会。琵琶湖に浮かぶ月の船に乗り合わせて工芸の道を共に進んで行こうというコンセプトで、高知県出身の川崎寿喜さんを中心に滋賀県在住の作家5人が染め織りの着物や帯陶芸、ガラス、木工芸など200点余を展示販売。



- 四国のでっぺんから山の恵み展
9月14日(木)～9月18日(月)
いの町本川直販所山の恵みグループの展示会。木と緑とダム、いの町本川から自然の恵みをお届けします。季節の草花をいかして作った、こけ玉、よせ植え、流木植えなど300点余を展示販売。

土佐和紙工芸村だより

☎ 892-1001

荒俣宏コレクション

— 博物館を愉しむ —

期間 8月20日(日)まで
(水曜日休館)
時間 10時～17時
会場 ギャラリーぼたにか
(蔵Ⅱ&Ⅲ)

内容 17世紀以降生物の新種が大量に発見され、研究が進むとともに、その整理と記録のため18世紀中ごろから多くの美麗な図譜や博物図鑑が生み出されました。小説家で博物学研究者である荒俣宏さんは、欧米の博物学の古書を大量に収集し、該博な知識を元に集大成の大著「世界大博物図鑑」全7巻(平凡社)を著しました。本展は、荒俣氏のコレクションの中から、動物を中心にして鳥、昆虫、魚など精密に描かれた銅板、石版手彩色の博物画図版約100点を展示しています。

土佐典具帖紙と

備前焼の展示会

期間 8月31日(木)まで
(水曜日休館)
時間 10時～17時
会場 ギャラリー創

内容 人間国宝(濱田幸雄氏)の和紙で作った人形やちぎり絵、顔料染めなどを展示しています。また、備前焼の人間国宝(山本陶秀氏・藤原雄氏)、岩本孝志、片岡聖観、本山和泉、鈴木常喜、岩本昭彦、兼田志女子などの壺、皿、酒器、茶器、花器、雑器300点を展示しています。

